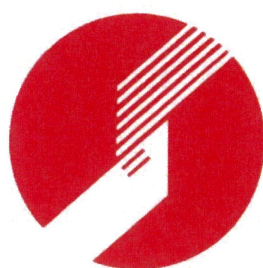


環境経営レポート

期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日



JUSO GROUP

株式会社 大建工業所

和



環境省
エコアクション21
認証番号0004938



作成日 令和6年5月1日 (第18版)

目 次

目次	1
I 組織の概要	2. 3. 4
II 対象範囲	4
III 環境経営方針	5
IV 環境経営目標	6
V 環境経営目標の実績と評価	7. 8
VI 主要な環境経営計画の内容・次年度取組内容	9
VII 環境経営計画の取組結果と評価	9
VIII 環境関連法規等の違反・訴訟の有無	10
IX 代表者による評価と見直し・指示	10
X 地域清掃活動	10

I 組織の概要

(1) 事業所名 代表者名

株式会社 大建工業所
代表取締役 川村 豊

(2) 所在地

(取組の対象全組織)

吹田営業所 吹田市山田西1-34-1
中島営業所 大阪市西淀川区中島2-13-8
本社 大阪市淀川区田川北2-4-10
ECOパーク 大阪市西淀川区佃5-8-35

(3) 設立年月日

昭和36年7月1日 (法人設立昭和41年4月)

(4) 資本金

1,000万円

(5) 環境関係責任者

環境管理責任者 岡本 紀和
TEL 06-6877-0771

(6) 事業内容

(取組の全活動)

本社 事務所機能のみ
吹田営業所 一般廃棄物収集運搬 産業廃棄物収集運搬
飲料水・貯水槽清掃
中島営業所 産業廃棄物処分業 (中間処理)
ECOパーク 産業廃棄物処分業 (中間処理)

(7) 事業の許可

別掲

(8) 事業の規模

活動規模	単位	2023年			
処理量	t	40,951	従業員数：人 (R6.4.1現在)		
売上高	百万円	870	本社	吹田	中島
従業員	人	47	2	40	5
床面積 吹田	m2	426			
床面積 中島	m2	130			
敷地面積 吹田	m2	1,256			
敷地面積 中島	m2	1,987			

(9) 処理量

令和5年度 t 収集運搬量 処分量
一般廃棄物 家庭系ごみ 9,697
事業系ごみ 3,900
浄化槽汚泥 1,239
産業廃棄物 2,767 17,742
特別管理産業廃棄物 139

(10) 車両の保有台数

パッカー車 (4t) 1台
パッカー車 (3.5t) 8台
パッカー車 (2t) 4台
コンテナ車 (4t) 3台
ダンプ車 (2t) 3台
ダンプ車 (3t) 5台
バキューム車 (4t) 2台
バキューム車 (2t) 1台
清掃車 (4t) 2台
医療収集車 (2t) 3台
その他車両 10台

(11) 処理の規模

中間処理
処理能力1 破碎・切 2 選別
1 0 0 m³/日 1 0 0 0 m³/日

(12) 施設の種類

中間処理施設

一次破碎機 1 機 110K w
選別ライ
ン破碎機 1 機 200K w

(13) 産業廃棄物収集運搬業、処分業許可

積替保管 面積 32.3m²
保管上限 15.6m³

※●については積替え保管を含む

品目	収 集 運 搬						
	産 業 廃 棄 物						
	積替無 大阪府	積替無 兵庫県	積替含 大阪市	積替無 奈良県	積替無 京都府	積替無 滋賀県	積替無 和歌山県
燃え殻	○			○		○	○
汚泥	○	○	●	○	○	○	○
廃酸	○	○	●	○	○	○	○
廃アルカリ	○	○	●	○	○	○	○
廃プラスチック	○	○	○	○	○	○	○
紙くず	○	○	○	○	○	○	○
木くず	○	○	○	○	○	○	○
繊維くず	○	○	○	○	○	○	○
ゴムくず	○	○	○	○	○	○	○
金属くず	○	○	●	○	○	○	○
ガラスくず	○	○	●	○	○	○	○
がれき類	○	○	○	○	○	○	○
廃油	○	○	●	○	○	○	○
動植物性残さ	○	○	●		○	○	○
感染性廃棄物							
廃石綿等							

※減容固化については発泡スチロールに限る

品目	収集運搬		
	特別管理		
	積替無 京都府	積替無 大阪府	積替無 兵庫県
燃え殻			
汚泥			
廃酸	○	○	○
廃アルカリ	○	○	○
廃プラスチック			
紙くず			
木くず			
繊維くず			
ゴムくず			
金属くず			
ガラスくず			
がれき類			
廃油	○	○	○
動植物性残さ			
感染性廃棄物	○	○	○
廃石綿等			○

品目	処分	
	産業廃棄物	
	選別破碎切 断 大阪市	減容固化 大阪市
燃え殻		
汚泥		
廃酸		
廃アルカリ		
廃プラスチック	○	○
紙くず	○	
木くず	○	
繊維くず	○	
ゴムくず	○	
金属くず	○	
ガラスくず	○	
がれき類	○	
廃油		
動植物性残さ		
感染性廃棄物		
廃石綿等		

(14)	一般廃棄物収集運搬業許可	許可番号	許可年月日	許可有効期限	事業の種類
	吹田市	吹田市指令環事第3号	令和6年4月1日	令和8年3月31日	事業系ゴミ
	吹田市	吹田市指令環減 第2008号	令和6年4月1日	令和8年3月31日	浄化槽汚泥
	高槻市	106U108	令和6年4月1日	令和8年3月31日	浄化槽汚泥
	摂津市	摂津市指令第13号	令和6年4月1日	令和8年3月31日	浄化槽汚泥
	大阪市	大阪市指令環境事第503号	令和6年4月1日	令和8年3月31日	浄化槽汚泥し尿を含む汚泥

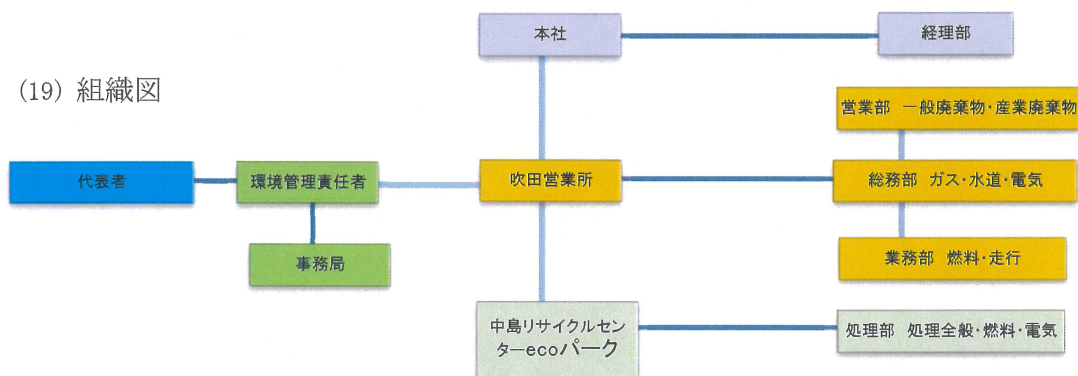
(15)	産業廃棄物収集運搬業許可	許可番号	許可年月日	許可有効期限	
	大阪府	第2700003765号	令和3年1月10日	令和8年1月9日	
	大阪市	第6600003765号	令和3年3月17日	令和8年1月13日	(積保有)
	兵庫県	第02803003765号	令和3年11月21日	令和8年11月20日	
	奈良県	第02900003765号	令和1年10月15日	令和6年10月14日	
	京都府	第02600003765号	令和1年10月8日	令和6年8月3日	
	滋賀県	第02501003765号	令和4年9月5日	令和9年9月4日	
	和歌山県	第03000003766号	令和1年8月1日	令和6年7月31日	

(16)	特別管理産業廃棄物収集運搬業許可	許可番号	許可年月日	許可有効期限	
	大阪府	第2750003765号	令和5年6月16日	令和10年6月15日	
	兵庫県	第02853003765号	令和1年7月16日	令和6年7月15日	
	京都府	第02650003765号	令和4年9月12日	令和9年7月24日	

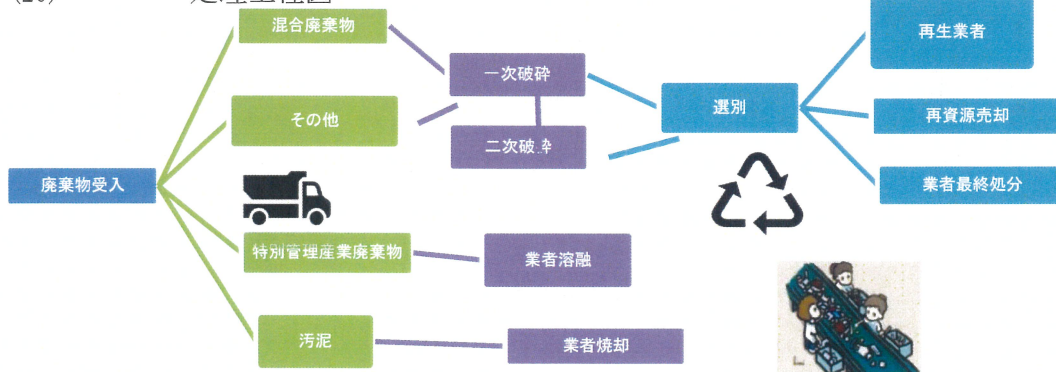
(17)	産業廃棄物処分業許可	許可番号	許可年月日	許可有効期限	
	大阪市	第6620003765号	令和1年10月25日	令和6年8月24日	

(18)	廃棄物再生事業者登録	登録番号	登録年月日	
	大阪府	第203号	平成12年7月5日	

(19) 組織図



(20) 処理工程図



Ⅱ 対象範囲 全組織及び全活動である

Ⅲ 環 境 経 営 方 針

環境理念

環境保全が当社の経営理念であり、一般廃棄物、産業廃棄物の処理業として地球環境にやさしく取組むため、SDGsの推進やあらゆる環境保全に配慮した活動を継続推進します。又、近隣地区を全社員で定期的に清掃奉仕活動を実施する事により地域住民との密着を深めてゆくと共にクリーンな環境の保持に努めます。

基本方針

当社は環境に与える影響を的確に捉え、環境目的、目標を定めて環境管理を推進し、会社全般にわたって、自然環境を良くし、資源を大切にすることに努めます。

1. 収集運搬車輛のIDドライブを実施し省エネと排ガスの抑制に取り組みます。
2. 処理に於いても分別方法を工夫し分別技術の向上を目指し、廃棄物の中からより多くの資源を供給することを自社の環境配慮活動として実施します。
3. 水・電気・ガスを効率的に利用し、使用量の削減に努めます。
4. 環境関連法規制等を遵守します。
5. グリーン購入を推進します。
6. 環境コミュニケーションを推進します。
7. 整理・整頓を徹底し、安全作業に努めます。

当社の従業員にこの環境経営方針を周知するとともに目的・目標に向かって推進いたします。尚、この環境経営方針を内外に向けて公開します。

制定 平成25年4月1日

改定 令和4年4月1日

株式会社 大建工業所

代表取締役 川村 豊

IV 環境経営目標 【吹田営業所】

2017年度を基準年度として、その実績（基準値）およびその後の目標は次のとおりです。

CO2排出係数	電気	ガソリン	軽油
	kg-CO2/kWh	kgCO2/L	kgCO2/L
	R4年間電		
	0.434	2.320	2.580

環境目標			基準年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			実績値		目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	2017年度削減%		13.0	14.0	15.0	16.0	17.0	
		42,744	kWh	37,187	36,760	36,332	35,905	35,478	
		18,551	kg-CO2	16,139	15,954	15,768	15,583	15,397	
	燃料使用量の削減	2017年度基準年度削減%			26.0	28.0	30.0	32.0	34.0
		ガソリン	14,608	L	10,810	10,518	10,325	9,933	9,641
			33,891	kgCO2	25,079	24,401	23,954	23,046	22,368
			原単位	km/L	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0
		軽油	2017年度基準	削減%	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0
			114,504	L	109,924	108,779	107,634	106,489	105,344
			295,420	kgCO2	283,604	280,649	277,695	274,741	271,787
			原単位	km/L	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
	二酸化炭素合計	347,862	kg-CO2	324,822	321,004	317,417	313,369	309,552	
	廃棄物排出量の削減	リサイクルの推進	2017年度削減%		9.0	10.0	11.0	12.0	13.0
550			kg	501	495	490	484	479	
用水使用量の削減	排水量の抑制	2017年度削減%		18.0	20.0	22.0	24.0	26.0	
		2,935	トン	2,407	2,348	2,289	2,231	2,172	
グリーン購入の拡大			-		6品目	6品目	6品目	6品目	6品目
環境活動の推進	本来業務の環境活動の推進	営業所会議		定期的実施	定期的実施	定期的実施	定期的実施	定期的実施	
		業務連絡会		連絡会実施	連絡会実施	連絡会実施	連絡会実施	連絡会実施	
		地域定期清掃		清掃活動	清掃活動	清掃活動	清掃活動	清掃活動	

【中島営業所】（中間処理）

環境目標			基準年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			実績値		目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	2017年度削減%		4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	
		119,613	kWh	114828	113632	112436	111240	110044	
		51912	kgCO2	49836	49316	48797	48278	47759	
	燃料使用量の削減	2017年度削減%		18.0	20.0	22.0	24.0	26.0	
		ガソリン	0.0	L	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			0.0	kgCO2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		軽油	2017年度基準	削減%	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0
			8,511	L	8,171	8,085	8,000	7,915	7,830
			21,958	kgCO2	21,080	20,860	20,641	20,421	20,202
		二酸化炭素合計		73870	kg-CO2	70,916	70,177	69,438	68,699
	原単位目標値 H30処理量当たり	電力	kWh/t	0	42	42	42	42	
		軽油	L/t	0	5	5	5	5	
廃棄物排出量の削減	リサイクルの推進	2017年度削減%		9.0	10.0	11.0	12.0	12.0	
		152	kg	138	137	135	134	134	

（水使用量は、家賃に含まれる程度）

（搬入搬出等の車両燃料は、本社管理です）。中島（営）の電力は稼働時間が大幅に伸びたので再設定した。

PRTR法対象となる化学物質の使用はない。

環境配慮活動；受託産廃のリサイクル率向上と最終処分率の削減

項目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
リサイクル率	25%	26%	27%	28%	29%	30%
最終処分率	75%	74%	73%	72%	71%	70%

※リサイクル率＝再生量/中間処理量×100

※最終処分率＝中間処理後最終処分量/中間処理量×100

V 環境経営目標の実績と評価

(1) 吹田営業所

2017年度を基準年とした、2023年度の目標に対する実績と環境活動の結果は次のとおりでした。

《2023年4月～2024年3月》

※電力のCO2排出係数は0.434Kg-CO2/kWh

項 目 単位	2023年度の目標値	実績値 達成率%	評 価	
電力の使用量 kWh/年	36,332	35,313	○	屋内換気などによりエアコンの設定温度が保てなかったが、目標は達成した。
		3%		
ガソリンの使用量 ℓ/年	10,325	9,310	○	使用車両が増え、営業エリアが広がったため、総量は増えたがハイブリッド車の導入などで原単位では目標達成できた。今後もエコドライブに努力して次回も原単位目標を達成したい。
原単位 km/ℓ	12.0	12.0		
		0%	○	
軽油の使用量 ℓ/年	107,634	112,450	×	前年度に続き仕事量が増え、営業エリアが広くなり使用量は目標を達成出来なかった。一方原単位では達成できた、今後もエコドライブに徹したい。
		-4%		
原単位 km/ℓ	4.2	4.2	○	
		0%		
CO2合計 kg-CO2/年	317,418	327,046	×	燃料が大幅に増加したので目標が使用量は達成できなかった。原単位は達成できたが次年度はエコドライブで使用料を減らしたい。
		-3%		
一般廃棄物排出量 kg/年	490	1,685	×	一般廃棄物の排出量実績を見直した結果、以前に設定した量より大幅に重量があった。また、稼働人員の増加とコロナ対策によるペーパータオルの使用などが増加の要因と思われる。
		-244%		
水使用量 m ³ /年	2,289	2,734	×	衛生上の理由により、手洗いうがいならびに業務終了後の水道使用量の増加要因と思われる。あと洗車の際の使用量なども含まれる。
		-19%		
グリーン購入	6品目	6品目	○	これからもエコマーク商品を利用して目標を達成したい。

※ 水使用量は、吹田営業所での洗車用水と清掃作業水が大半です。

(2) 中島事業所（中間処理）

※電力のCO2排出係数は0.434Kg-CO2/kWh

項 目 単位	2023年度の目標値	実績値 達成率%	評 価	
電力の使用量 kWh/年	112,436	93,617	○	処理方法の見直しと、処理後の扱い方（再生）を重要課題とし、取引先選定により廃棄物の種類によっては破碎処理せずに受け入れしていただけるようになった。更に環境負荷を抑制できるよう努力する。
		17%		
原単位 kWh/t	42	33	○	
		21%		
kg-CO2/年	48,797	40,630	○	
		17%		
軽油の使用量 ℓ/年	8,000	13,285	×	業務拡大の為、使用車両を増車したことによる使用量増加。しかし新型車入替等により燃費効率が良くなった。CO2排出量は電力の削減により目標達成できた。
		-66%		
原単位 ℓ/t	5	5	○	
		6%		
CO2合計 kg-CO2/年	69,438	74,904	×	
		-8%		
廃棄物排出量 kg/年	135	134	○	古紙再生の重要性に重点をおいて活動した結果、廃棄物排出量が減少した。今後も継続していく。
		1%		

※ 達成率：「+」で達成「-」未達成 評価：○達成 ×未達成

(3) 本社事務所については(株)ジオメイクのビル内にあるため定量的把握はできません。
そのため、次の定性的取組を実施しています。

電力使用量削減	・ 不必要な照明をなくす	○	今後も削減に努力していきたい。
	・ エアコンの温度調節	○	
	・ 不要なコンセントは抜く	○	
廃棄物排出量削減	・ 使用済み封筒の再使用	○	
	・ 不用紙の裏面使用	○	
	・ こまめな分別	○	
上水使用量削減	・ 手洗い時の節水	○	

(4) 環境配慮活動；受託産廃のリサイクル率と最終処分率実績と評価

受託産業廃棄物	2023年度		評価	
	目標値	実績値		
リサイクル率	24%	40%	○	処理量が増えたが、フォーミング材への移行、また焼却処理からサーマルリサイクルへ移行したので、リサイクル率、最終処分率ともに目標達成できた。
最終処分率	81%	60%	○	

(5) 全社からの二酸化炭素排出量 実績と評価

	目標	実績	評価	
電力の使用量 kWh/年	148,768	128,930	○	
ガソリン使用量 ℓ/年	10,325	9,310	○	
軽油の使用量 ℓ/年	115,634	125,735	×	
CO ₂ 排出量 kg-CO ₂ /年	386,856.0	401,950.0	×	

VI 主要な環境活動計画の内容・次年度取組内容

次年度取組内容

- | | |
|-------------------------|---|
| (1) 二酸化炭素排出量の削減 | |
| ① 車両の燃料の使用量の削減、燃費の向上 | |
| ・全車両の毎日、毎月の点検整備する。 | ○ |
| ・エコドライブを徹底して環境に配慮する。 | ○ |
| ・収集運行経路の見直し | ○ |
| ・効率の良い車両の走行距離低減 | ○ |
| ② 電気使用量の削減 | |
| ・エアコンの温度調節、運転停止時の電源OFF。 | ○ |
| ・選別コンベアー、破碎機運転管理の徹底。 | ○ |
| ・待機電力を停止する。 | ○ |
| ・不用事の消灯 | ○ |
| ・省電力機器導入 | ○ |
| (2) 廃棄物総排出量の削減 | |
| ① 使用済み封筒の再使用、不要紙の裏面使用。 | ○ |
| ② こまめな分別し環境配慮活動する。 | ○ |
| (3) 使用水道の削減 | |
| ① 節水コマの取り付け管理する。 | ○ |
| ② 洗車時の水は効率よく使用する。 | ○ |
| ③ 洗浄等は無駄な水出しせず使用量の削減する。 | ○ |
| (4) 受託産業廃棄物の資源化の推進 | |
| ① 選別段階での選別の徹底。 | ○ |
| ② 焼却処理からのサーマルリサイクルへ移行 | ○ |
| (5) グリーン 購入の推進 | |
| ① エコマーク商品の利用。 | ○ |
| (6) 環境活動の推進 | |
| ① 部門間・関係企業のコミュニケーション | ○ |
| ② 清掃活動 | ○ |
| ③ リサイクル率向上、最終処分率減少 | ○ |

VII 環境活動計画の取組結果と評価

凡例：◎：十分できた △：5割程度できた ×：ほとんどできなかった

- | | |
|-------------------------------------|--------|
| (1) 二酸化炭素総排出量の削減 | |
| ① 車両の燃料の使用量の削減 | 取組結果 ◎ |
| ・全車両の毎日、毎月の点検整備がよくできた。 | |
| ・エコドライブを徹底して環境に配慮できた。 | |
| ・収集運行経路の見直したら効率よくなった。 | |
| ・効率の良い車両の走行距離が低減できた。 | |
| ② 電気使用量の削減 | 取組結果 ◎ |
| ・エアコンの温度調節、運転停止時の電源OFFできた。 | |
| ・中島営業所は選別コンベアー、破碎機運転管理に徹した。 | |
| ・中島営業所は常に待機電力を停止した。 | |
| ・不用事の消灯ができた。 | |
| (2) 廃棄物総排出量の削減 | 取組結果 △ |
| ① 使用済み封筒の再使用、不要紙の裏面使用できた。 | |
| ② こまめな分別し環境配慮活動に徹した。 | |
| (3) 使用水道の削減 | 取組結果 △ |
| ① 洗面等の蛇口の節水コマの効果はあった。続ける。 | |
| ② 洗車時の水は効率よく使用する。 | |
| ③ 全社として節水に心がけた。 | |
| (4) 受託産業廃棄物の資源化の推進 | |
| ① 選別段階での選別の徹底できた。 | 取組結果 ◎ |
| ② 焼却処理からのサーマルリサイクルへ移行良くなった。 | |
| (5) グリーン 購入の推進 | 取組結果 ◎ |
| ① これからもエコマーク商品の利用をしたい。 | |
| (6) 環境活動の推進 | 取組結果 ◎ |
| ① 部門間・関係企業のコミュニケーションを今後も積極的に行う。 | |
| ② 清掃活動も引き続き定期的実施する。 | |
| ③ 社内での廃棄物発生を抑制する事に努める。 | |
| ④ リサイクル率向上、最終処分率減少を継続的に実施できる組織体制作り。 | |

VIII 環境関連法規等の違反・訴訟の有無

過去3年間次に掲げる環境関連法規のチェックの結果、違反はありませんでした。

関係機関からの指摘も無く、地域住民の苦情も無く又 訴訟もありませんでした。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処理	遵法
大阪市廃棄物の減量推進及び適正処理に関する条例及び規則	廃棄物の適正処理	遵法
吹田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例及び規則	廃棄物の適正処理	遵法
自動車NOX・PM法、大阪府生活環境保全条例	ディーゼル車排ガス規制	遵法
騒音規制法第4条第1項の規定に基づく規制基準	規制基準	遵法
振動規制法第4条第1項の規定に基づく規制基準	規制基準	遵法
吹田市浄化槽法施行細則	浄化槽の適正管理	遵法
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検	遵法

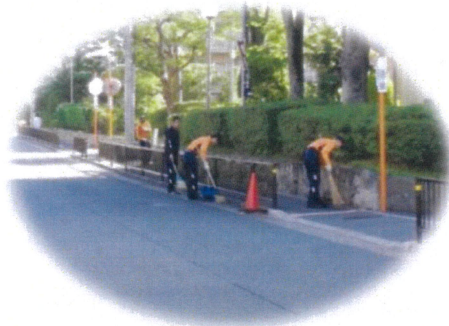


IX 代表者による評価と見直し・指示

全社で電力は事務仕事や業務量が増えたが、総量では目標達成出来た。また、軽油の使用についても、稼働車両が増大し、営業エリアの拡大により総量では目標値をオーバーした。一方、原単位では目標達成出来ている。従って環境経営目標及び経営計画の見直しは必要ない。中島営業所は焼却処理からサーマルリサイクル等の移行によりリサイクル率が向上し、次年度には設備を更新するので、新規の体制と適切な目標設定については、本格稼働を見て設定する。

X 地域清掃活動

会社前道路清掃を毎土曜日に実施しています。



<http://www.jusogroup.com/>